

# 地域と学校のコラボ日記⑧（「地域学校協働活動」編 その7）

「地域学校協働活動」とは、子どもの健全育成のため、地域全体で子どもたちの学びや成長を支える様々な活動です。



今月は、地域の有志や個人が中心となって広がりをもたせる子どもの居場所づくりについてご紹介します。

## 「地域に広がる子ども の居場所づくり！」

地域のつながりの希薄化や少子化の進展により、地域の中で子どもが育つことが困難になっているという社会の実態を踏まえ、国は全ての子どもが、安全で安心して過ごせる多くの居場所づくりを推奨しています。そのような中で、市内の様々なところでも小中学生を中心とした放課後の居場所づくりの活動が地域の大人によって取り組まれています。

一つ目は、個人の店舗の一部を毎日開放して、放課後に子どもたちが宿題をしたり、用意した課題に取り組んだりしている居場所です。始めてから6年が経ちました。中には中高生にもなってもやってくる子どももいます。



各自で課題に取り組んでいます

二つ目は、地域の大人の有志が集まって美しが丘北公民館で取り組んでいる放課後居場所です。毎月第2、4水曜日に子どもたちと宿題をしたり、遊んだりしています。ここでは小学生のお姉ちゃんに連れられて園児の妹も一緒に過ごしたりしています。



宿題に取り組んでいます



よく飛ぶ折り紙飛行機に挑戦

このように子どもの居場所とは、子どもの様々な学びや遊びを通して、社会で生き抜く力を得るための糧となっています。

今後、地域の中で様々な形の子どもの居場所づくりが広がっていくことでしょう。